

様式第 8 号

事業報告書 令和 8 年 5 月 2 9 日

石巻市（施設名 石巻市牡鹿地域拠点エリア（観光物産交流施設、おしかホエールランド））			
法人・団体名	一般社団法人鮎川まちづくり協会		
代 表 者 名	代表理事 齋 藤 富 嗣	設立年月日	平成 3 0 年 9 月 2 0 日
所 在 地	石巻市鮎川浜南 31 番地 1		
電 話 番 号	0225-24-6644	F A X 番 号	0225-24-6645
E-m a i l	office_ayukawa@oshika.miyagi.jp		

現在運営している類似施設	所 在 地	主な業務内容	管理運営期間
			自 年 月 日 至 年 月 日
			自 年 月 日 至 年 月 日

観光物産交流施設

指標名		単位	目標値	実績値
活動指標	年間利用者数	人	220,000	265,512
成果指標	利用者満足度（アンケート回答者のうち「全体の満足度」が、「非常に満足」、「やや満足」の割合）	%	70	86.6

おしかホエールランド

指標名		単位	目標値	実績値
活動指標	年間利用者数	人	15,000	14,809
成果指標	利用者満足度（アンケート回答者のうち「全体の満足度」が、「非常に満足」、「やや満足」の割合）	%	70	87.7

管理業務に関する内容 (別紙可)

1 施設の管理運営状況

当施設は、離島の金華山や網地島、田代島への海の玄関口であり、牡鹿の観光拠点になっています。また、地域の特産物を販売する観光物産交流施設や、鯨の歴史・文化を発信するおしかホエールランド、さらに環境省が整備する牡鹿の自然を伝えるビジターセンターも一体的に建設されています。牡鹿地域拠点エリアが牡鹿の観光拠点となり、観光客の誘致を行っていくために、それぞれの施設の特徴を活かした包括的な管理運営に努めて参りました。

2 施設の現状に対する認識及び今後の在り方 (課題とその解決策)

観光拠点として牡鹿の魅力を発信し、交流人口の増加を目指すためには、水産業や宿泊業、飲食業等を営む地域の事業者との連携、さらに牡鹿を良く知る地域住民との協働が必須だと考え、地域が一丸となる拠点施設運営と自主事業を実施して参りました。

令和7年度の来館者数は約26万5千人となり、12年の一度の巳歳御縁年大祭の影響を大きく受けた。令和8年度も、交流人口の増加を目指し、集客のための事業に尽力して参ります。

3 施設運営について

(1) 年間の管理運営実績

※ 事業実施報告書 (別紙1)、収支決算書 (別紙2)、事業実施決算書 (別紙3) のとおり

(2) 開館日数・休館日数

観光物産交流施設	開館日数	365日	休館日数	0日
おしかホエールランド	開館日数	315日	休館日数	50日

(3) 施設利用者数

観光物産交流施設cottu	265,512人
おしかホエールランド	14,809人

(4) 利用者に対するサービス向上のための方策

- ・施設の利用者に懇切丁寧に接した。
- ・衛生面 (特にトイレ等) に配慮した快適な清掃業務を行った。
- ・拠点エリアにおける景観の保全と自然環境の保護に努めた。
- ・災害時、緊急時に備えた危機管理を徹底し、利用者の安全を確保した。

(5) 利用者ニーズの把握やその実現策

- ・館内において利用者用のアンケートを常設。毎月毎に集計し、職員やテナント事業者へ周知した。
- ・ホームページの開設やSNSの利用により、ネット上での意見をいただける体制を維持している。
- ・利用者の苦情内容を把握し、対象のテナント事業者へ改善を依頼した。

4 施設管理について

(1) 施設の適正な維持管理の方策

- ・公の施設であることを認識し、公平な管理運営を行った。
- ・利用者や地域住民の声を把握し、施設の管理運営に反映した
- ・サービス水準の維持向上に努め、施設の利用者に懇切丁寧に接した。
- ・拠点エリアにおける景観の保全と自然環境の保護に努めた。

※ 施設の管理業務のうち第三者に行わせた業務

機械警備／受電設備保守点検／誘導灯保守点検／火災報知器保守点検
消火設備点検／自動ドア保守点検／エアコン保守点検／海水ろ過機清掃点検
緑化管理／日常・定期清掃

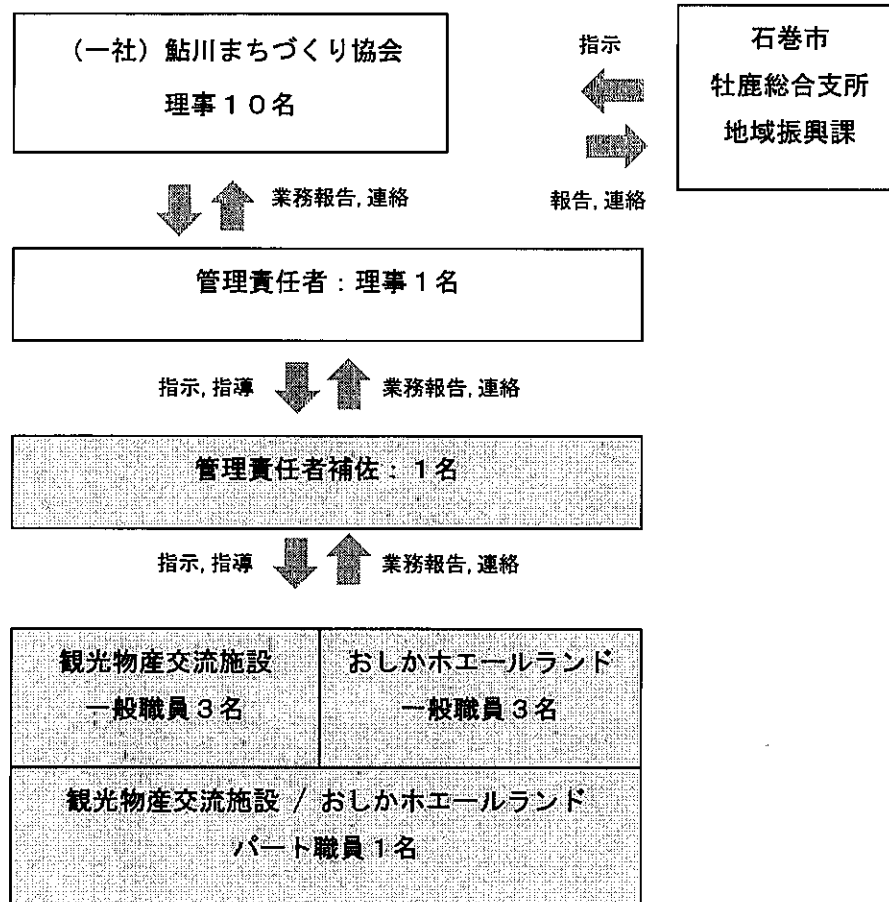
(2) 地域社会に対する貢献

- ・観光拠点となるよう、地域の観光物産商品を広報した。
- ・一般社団法人石巻観光協会と連携し、施設内での観光案内を実施した。
- ・牡鹿半島の魅力を伝える情報発信基地として、映像、紙面、マスメディア等の様々な媒体を駆使した広報を実施した。
- ・地域の漁業者等と連携し、地域特産物の販売や展示を企画した。
- ・上記、牡鹿半島ビジターセンターと連携した展示やイベントを企画した。

(3) 経費節減のための方策

- ・施設全体で効率的な職員配置を行い、少人数で最大限の効果が出せるよう施設管理を行った。
- ・施設全体を包括的に管理し、消耗品や保守点検等を一括して発注することにより管理経費を節減した。

(4) 組織及び人員配置並びに従業員の雇用状況及び勤務体制



(5) 従業員の研修実績

- ・笑顔、身だしなみ、言葉使い等の接客研修を定期的実施した。
- ・牡鹿地域の観光地、観光施設、歴史、文化等に関する研修を定期的実施した。
- ・捕鯨の歴史、文化等に関する講習会を実施しました。
- ・地域の催し物、行事、活動等に職員が研修参加し、地域情報の把握に努めました。
- ・事故及び災害対応マニュアルを作成し、職員の教育、研修を実施した。
- ・防火管理講習や救命講習会を積極的に受講した。

(6) 法令遵守

- ・情報の取扱いに関するマニュアルを基に、情報の管理、個人情報の保護及び公開すべき情報について、職員に周知を徹底した。
- ・個人情報に関するものは、施錠可能で管理上安全な場所に保管し、電子データの持ち出しにも十分注意し、情報が流出しないよう徹底した。
- ・労働条件通知書の発行、職員との定期的な面談、労務担当職員の配置、社労士との委託契約等を継続的に実施。

5 その他

(1) 防犯・防災・安全管理の体制や対応

- ・救急・応急措置、医療機関及び家族への連絡等の対処法を明記した事故対応マニュアルを作成し、職員へ周知を徹底するとともに必要な講習を受講した。
- ・避難ルートや危険箇所を把握するため、日常的な巡回や点検を徹底しました。

(2) 災害等の非常時の体制や対応

- ・災害、火災を想定した避難及び消火訓練を毎年1回以上実施した。
- ・災害時に職員が適切な応急措置が取れるよう、情報の収集伝達、利用者の安全確保避難誘導體制をつくった。

(3) 情報公開を行うための措置について

- ・個人情報に当たらない事項は、ホームページ等に掲載し、情報公開に努めた。
- ・運営管理業務や経理状況に関する書類を整理し、開示請求があった場合は迅速に対応した。

(4) 特記事項

- ・特になし

※集会施設等については、3(4)、4(2)、4(3)及び4(5)の記載は不要です。

(別紙1)

事業実施報告書（令和7年度）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
観光促進事業	拠点施設への来訪者増を目的としたイベントを企画・運営する。 ① 地域の魅力・歴史・文化等に関連するイベントを実施。 ② 牡鹿半島の海産物をPRするためのイベントへの協力。 ③ 鯨に関するイベント等を実施。 ④ ビジターセンターと連携した企画を実施。	計1回（11月） 計1回（7月） 計1回（11月） 計1回（11月）
観光情報等発信事業	施設案内やイベントを広く広報する。 ① ホームページの更新 ② SNSの活用 ③ 無料公衆無線LANの提供 ④ 震災伝承のための情報を掲示	随時 随時 随時 随時
業務改善事業	業務改善のための提案、評価、実施及び確認を行う。 ① テナント事業者との会議 ② アンケート調査と改善プランの作成 ③ トイレ等の衛生・美観の定期巡回 ④ 定期巡回による施設改善点の確認 ⑤ 接遇に関する教育と研修	月2回 随時、イベント時 週1回 週1回 計1回（3月）
緊急時対策事業	事故、災害に備え危機管理体制を確立する。 ① 防火、救急救命等の講習会受講 [4月28日普通救命講習] [9月29日火災避難訓練] ② 消火、通報及び避難訓練の実施	計2回 計1回

	[3 月 2 3 日地震・津波避難訓練] ③ 避難ルート等の巡回及び点検	週 1 回
市民交流事業	地域住民や来訪者が拠点施設に集うイベントや事業を企画し、運営する。 ① 夏祭り等の季節イベントの実施	計 2 回 (1 0 月・ 3 月)

注意

- 1 1 年間（年度中途から管理を行っている場合は、その中途の日から年度末まで）の実施事業を記入してください。
- 2 年度ごとに作成してください。

自主事業実施報告書（令和 7 年度）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
観光促進事業	牡鹿半島の海産物等を PR し、販売するイベントを開催する。 ① 海産物を販売するイベントを開催。 「巳歳御縁大祭」のキャンペーンを実施。 ② イベントを開催	計 1 回（7 月） 年 6 回（5 月・7 月・10 月）
物販振興事業	地域住民・事業者の販売機会を創出する。 ① インフォメーションコーナーにて地域住民の手作り作品や、地域の特産品等を販売する。 ② おしかホエールランドにて、鯨の PR につながる商品等を販売する。 ③ 観光客の需要に応えるため、自動販売機を設置する。 ④ 地域事業者の販売機会を促進するため、出店者を受け入れる。	随時 随時 随時 随時
地域振興事業	石巻市が関わる地域を上げたイベントへの協力。 ① 牡鹿鯨まつり ② Reborn-Art Festival への展示協力	計 1 回（8 月） 随時

令和7年度 牡鹿地域拠点エリア運営管理に関する収支決算書

費目／細目	金額	説明
1. 指定管理料	46,000,000円	
指定管理料	46,000,000円	
2. 利用料金	7,409,550円	
入館料	4,798,610円	
年間パスポート	25,000円	
テナント利用料	2,585,940円	
3. その他	503,671円	
原子力立地給付金	396,000円	
イベント補助金	0円	
自販機電気料金	100,982円	
雑収入	6,689円	
収入合計 ①	53,913,221円	
1. 人件費	31,282,960円	
給与	19,709,200円	
諸手当	6,043,478円	手当・福利厚生費(通勤・住宅手当等)
法定福利費	4,314,934円	
賃金	1,215,348円	臨時職員1名
2. 事務費	2,581,321円	
報償費	0円	
消耗品費	88,171円	事務用品
印刷製本費	513,437円	入館券、パンフレット、ポスター等
通信費	732,343円	郵便料、電話料(インターネット料)等
賃借料	664,033円	事務機器リース料、AEDリース料等
手数料	21,725円	振込手数料等
広告料	559,132円	観光推進キャンペーン等
旅費	2,480円	出張交通費、宿泊費等
負担金	0円	
3. 事業運営費	568,982円	
開業イベント費	0円	
企画イベント費	568,982円	
4. 管理費	19,531,496円	
修繕費	24,200円	
光熱水費	7,013,177円	電気料、水道料、ガス代
委託料	7,275,600円	
消耗品費	1,490,589円	
使用料	246,375円	
保険料	412,270円	施設賠償
車両関係費	332,461円	車両保険
租税公課	2,736,824円	令和6年度分消費税、預金利息源泉税
支出合計 ②	53,964,759円	
収 支 (①－②)	-51,538円	

(別紙2)

令和7年度（石巻市牡鹿地域拠点エリア）の管理運営に関する収支決算書

団体名：一般社団法人鮎川まちづくり協会

(単位：円)

項目	金額	内訳	備考
指定管理料	46,000,000	指定管理料	
利用料金	7,409,550	入館料 年間パスポート テナント利用料	
その他	503,671	原子力立地給付金 自販機電気料金 利息	
収入合計 ①	53,913,221		
人件費	31,282,960	給与 法定福利費	
事務費	2,581,321	事務消耗品費・印刷製本費・通信費 賃借料・手数料・広告料・旅費	
事業費	568,982	事業企画費	
管理費	19,531,496	修繕費・光熱水費・委託料 管理消耗品費・使用料・保険料 車両関係費・租税公課	
支出合計 ②	53,964,759		
収支 ①－②	-51,538		

注意

- 1 年間（年度中途から管理を行った場合は、その中途の日から年度末まで）の収支を記入してください。
- 2 年度毎に作成してください。

(別紙3)

令和7年度自主事業実施決算書

団体名： 一般社団法人鮎川まちづくり協会

(単位：円)

事業名	事業実施決算								
	応募人数	収入①			支出②				収支 ①－②
		売上高	その他	計	仕入高	人件費	その他	計	
KBイン フォメー ション		8,468,713		8,468,713	7,506,596	1,376,190	1,188,335	10,071,121	-1,602,408
ホエール ランド		4,450,968		4,450,968	3,050,190	635,850	1,113,574	4,799,614	-348,646
自販機		628,998		628,998				0	628,998
出店料		177,500		177,500				0	177,500
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
				0				0	0
計		13,726,179	0	13,726,179	10,556,786	2,012,040	2,301,909	14,870,735	-1,144,556

注意 自主事業を行っている場合は、指定管理業務と分けて別途作成してください。